

令和元年貝塚市教育委員会会議
第1回臨時会会議録

令和元年8月8日開会

令和元年8月8日閉会

令和元年8月8日(木)午後16時00分
貝塚市教育庁舎3階会議室

日程 番号	議案		事 件 名	備考
	種別	番号		
1			会議録署名委員の指名	
2			会期決定の件	
3	議案	24	令和2年度使用中学校教科用図書採択の件	
4	〃	25	令和2年度使用小学校教科用図書採択の件	
5	〃	26	令和元年貝塚市教育委員会会議第1回定例会会議録承認の件	

本日の会議に付した事件

1. 会議録署名委員の指名
2. 会期決定の件
3. 令和2年度使用中学校教科用図書採択の件
4. 令和2年度使用小学校教科用図書採択の件
5. 令和元年貝塚市教育委員会会議第1回定例会会議録承認の件

教育長及び出席委員

鈴木 司郎 教育長
 1番 浅田 真由美 教育委員会委員
 2番 樽谷 栄子 教育委員会委員
 3番 西村 卓也 教育委員会委員
 4番 田中 廉久 教育委員会委員

議案説明のため出席した者

教育部長	樽谷 修一	教育部参与	浦川 英明
教育部参与兼			
スポーツ振興課長	一色 正仁	教育総務課長	楢崎 賀代
学校教育課長	秦 真人	学校教育課参事	荒木 規夫
青少年教育課長	水本 学	中央公民館長	寺戸 俊二
図書館長	見川 直子	学校教育課主幹	永井 隆幸
学校教育課主幹	宮脇 大貴	学校教育課主幹	須貝 一徳
学校教育課指導主事	松井 大祐	教育研究センター主幹	赤阪 朋子
教育研究センター主幹	西原 和隆		

事務局職員出席者

榑崎	賀代	教育総務課長
小牧	真也	教育総務課長補佐
植山	卓哉	教育総務課主査

午後16時00分開会

- 教育長（鈴木 司郎） ただいまから、令和元年貝塚市教育委員会会議第1回臨時会を開きます。
本日の会議には、傍聴の申込がありますので、これを承認いたします。
傍聴人におかれましては、傍聴人規則を遵守され、静粛に傍聴されるようお願い申し上げます。
これより、事務局に本日の出席委員数及び欠席委員等の氏名の報告を求めます。
- 事務局（榑崎 賀代） ご報告申し上げます。出席委員は4名全員であります。
以上で報告を終わります。
- 教育長（鈴木 司郎） ただいま報告のとおり、出席委員は4名をもちまして会議は成立しております
ので、ただいまから本日の会議を開きます。
これより事務局に諸般の報告を求めます。
- 事務局（榑崎 賀代） 諸般の報告を申し上げます。本日開会されました令和元年貝塚市教育委員会会議
第1回臨時会は、8月5日付で招集告示し、本日の開議時刻を午後4時と定めてご通知申し上げます。
今回の提案事件は、議案3件であります。
なお、本日の議事説明員として、出席を求めた事務局の職員の職氏名は、プリントしてお手許へ配付い
たしていただいております。
以上で報告を終わります。

-
- 教育長（鈴木 司郎） これより日程審議に入ります。日程第1、会議録署名委員の指名をおこないま
す。会議録署名委員は会議規則第54条の規定により、1番 浅田 真由美 委員、3番 西村 卓也
委員を指名いたします。

-
- 教育長（鈴木 司郎） 次に日程第2、会期決定の件を議題といたします。今回の会期は招集日の1日
に決定してご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。よって会期は1日に決定いたしました。

-
- 教育長（鈴木 司郎） 次に日程第3、議案第24号令和2年度使用中学校教科用図書採択の件を議題とい
たします。

議案第24号 令和2年度使用中学校教科用図書採択の件

- 教育長（鈴木 司郎） これより議案の説明を求めます。浦川 英明 教育部参与。
- 教育部参与（浦川 英明） 議案第24号 令和2年度使用中学校教科用図書採択の件につきまして、
ご説明申し上げます。
中学校の令和2年度使用教科用図書につきましては、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関
する法律第14条」及び「同法律施行令第15条」の規定及び平成31年3月29日付文部科学省初等中
等教育局教科書課長より通知された30初等科第33号「2020年度（新元号2年度）使用教科書の採
択事務処理について」により、平成27年度と同一の教科用図書を採択することとなっております。
また、令和元年5月22日には、中学校教科用図書選定委員会を開催し、協議を行った結果、平成
27年度と同一の教科用図書を使用することが望ましいとの意見具申をいただいているところです。
従いまして、議案書の一覧表に記載しております教科用図書を採択しようとするものであります。
以上のとおりでありますので、何卒よろしくご審議の上、議案書の一覧表の教科用図書の採択をお
願い申し上げます。
- 教育長（鈴木 司郎） 議案の説明が終わりました。
ただいまから質疑に入ります。浅田 真由美 委員。
- 委員（浅田 真由美） 中学校で使用しております教科書について、学校の先生から意見がありましたら
教えてください。
- 教育長（鈴木 司郎） 秦 真人 学校教育課長。

○学校教育課長（秦 真人） 学校現場へ現行の教科書等の状況についてお聞きしておりますが、使いにくい等のご意見は聞いておりません。

○教育長（鈴木 司郎） 他にございますか。
それでは、質疑は終了したものと認めます。
これよりご意見を伺います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（鈴木 司郎） ご意見もないようですので、これより採決いたします。
本案を可決することに、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり。〕

ご異議なしと認めます。よって、本案は可決されました。

○教育長（鈴木 司郎） 次に日程第4、議案第25号令和2年度使用小学校教科用図書採択の件を議題といたします。

議案第25号 令和2年度使用小学校教科用図書採択の件

○教育長（鈴木 司郎） これより議案の説明を求めます。浦川 英明 教育部参与。

○教育部参与（浦川 英明） 議案第25号 令和2年度使用小学校教科用図書採択の件についてご説明申し上げます。

小学校の令和2年度使用教科用図書につきましては、4月の教育委員会会議第2回臨時会で、ご承認いただきました令和2年度貝塚市小学校中学校教科用図書選定委員会に、小学校教科用図書の選定について、諮問を行ったところであります。7月23日に調査員による調査研究報告を受け、意見具申をまとめました。審議の際に、詳細は担当者からご説明申し上げますが、私から、まず全体についてご説明いたします。

次期学習指導要領は、平成29年3月に告示されました。

中央教育審議会答申においては、これまでの学習指導要領の改訂の中心であった「何を学ぶか」という学習内容の見直しにとどまらず、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」までを見据えて学習指導要領等を改善することを求めるとともに、育成をめざす資質・能力を①生きて働く「知識・技能」の習得、②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成、③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養、の三つの柱に整理されました。

これを受け、教科書についても、今回の学習指導要領の改訂の趣旨を十分に踏まえた物となるように改善していくことが必要であり、学習指導要領における記述を踏まえ、平成29年5月23日に、検定審議会において「教科書の改善について（報告）」（以下「平成29年報告」という。）が取りまとめられました。

その中では

(1) 教科共通の条件での改善

- ・資質・能力の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った改善
- ・「発展的な学習内容」の規定の見直し
- ・「引用資料」に関する規定の見直し

(2) 教科固有の条件での改善

- ・外国語科における規定の見直し
- ・社会科、地理歴史科及び公民科における規定の見直し
- ・理科における規定の見直し
- ・小学校におけるプログラミング教育に関する規定の新設
- ・その他高等学校の教科固有の条件の見直し等

(3) 学習指導要領改訂を反映した教科書づくり

と示されています。

これらのことを充分考慮し、貝塚市の児童に合う教科書の意見具申を今般、させていただくこととなりました。

以上のとおりでありますので、何卒よろしくご審議の上、議案書の一覧表の教科用図書の候補図書より一者の採択を、お願い申し上げます。

○教育長（鈴木 司郎） 議案の説明が終わりました。

ただいまから、令和2年度から使用する小学校各教科用図書の採択について審議を行います。

令和2年度からの小学校教科用図書の選定にあたり、選定委員会を設置して詳細に調査していただくとともに、4名の教育委員もすべての教科書見本をチェックしてまいりました。

多くの教科書会社があり、それぞれにすぐれたところがあり、選定委員会でも色々な意見が出たとお聞きしています。

今日ここに選定委員会の具申書の提出をうけ、その内容と教育委員の皆様の意見を集約し、貝塚市小学校の児童の実態に最も適した教科書を採択したいと思いますので、慎重にご審議いただきますようお願いいたします。

進行につきましては、教科ごとに選定委員会の意見具申を担当指導主事から受け、その後に委員各位からの質疑、意見を経て、採択をするという事で進めていきたいと思っております。よろしいでしょうか。

それでは国語から始めたいと思っております。まず、意見具申をお聞かせください。

須貝 一徳 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（須貝 一徳） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるように内容が編成されています。

東京書籍は

- ・ 日常生活に必要な国語の知識及び技能について各教材を通じて適切な内容が取り扱われている。
- ・ 単元末や学年末に定期的に学習のふりかえりがあり、学習への意欲や主体性が高まる内容が取り上げられている。
- ・ 情報機器や学校図書館を活用することについて適切にとりあげられている。

学校図書は

- ・ 各学年、学習のめあてが示されており、学習事項がわかりやすくなっている。また学習の流れがわかりやすい作りとなっている。
- ・ 日常生活に必要な知識及び技能について、各教材を通じて適切に取り扱われている。
- ・ 巻末には、いままでに学習した漢字や大切な言葉をふりかえることができる。

光村図書出版は

- ・ つけたい力と言語活動が単元冒頭に取り上げられ、児童の意欲や主体性が高まる内容が取りあげられている。「たいせつ」や「いかそう」では、単元で身につけた力を、他教科や生活に生かせる内容が取り扱われている。
- ・ 「対話の練習」が設定され、他者と主体的に関わり、日常生活に生きる対話の力を育む内容が取り扱われている。
- ・ 多様な学習活動を効果的に行うことができるように、言語活動の場面が設定されている。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、学校図書、光村図書出版の3者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 教科書選定委員会より報告いただきましたが、委員各位からの質疑をいただきたいと思っております。浅田 真由美 委員。

○委員（浅田 真由美） 4年前に採択された教科書を現行使用されていると思っておりますが、学校現場の先生からの意見があれば教えてください。

○教育長（鈴木 司郎） 須貝 一徳 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（須貝 一徳） 学校現場からの意見としては、現行使っている教科書で特に不備や使いにくさなどは聞いておりません。

○教育長（鈴木 司郎） 今回の学習指導要領の改定で、「主体的、対話的で深い学び」ができる教科書というものを選んでいかないと、新しい学習指導要領にふさわしい授業ができないということになっ

てきます。その点について、3者の教科書のどういうところが「主体的、対話的で深い学び」をするのに上手くできているのか教えていただきたい。須貝 一徳 学校教育課主幹。

- 学校教育課主幹(須貝 一徳) 3者どれにおいても、学習の流れの中で、言語活動も意識したつくりとなっています。

東京書籍は、教材を通じてつける力や指導事項が明確です。例えば、1年生の説明文では本文中に出てきた文から主語と述語を確かめ、その後の物語で、本文中に出てきた目的語が入る1文を指導するというように、「教材で教える」という流れがしっかりしています。また、各学年での学習用語がまとめられていたり、学習用語の説明がされていたりします。特に言葉の特徴や使い方、言語文化など知識理解において丁寧に取り扱われています。

学校図書は、教材のタイトル横に、つけたい力が示されており学習事項が明確になっています。学習のてびきには学習の全体像を示すことで、見通しを持ち、意欲や主体性が高まる内容が取り上げられています。そして、つけた力をレッスンとして活用する課題が設定されています。また、4年生の「手で食べる、はしで食べる」では、食育授業とも関連して指導することができるなど、他の教科等とも関連する内容が取り入れられています。

光村図書出版は、単元の流れがわかりやすく、見通しがもちやすいことがあります。また、つけたい力と言語活動が単元冒頭に取り上げられています。2年生の「たんぼぼのちえ」では、順序を表す言葉に着目してわかりやすく、言語活動で、児童の意欲や主体性が高まる内容が取り上げられています。単元での「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」の流れは、主体的・対話的・深い学びを意識するのにわかりやすい構成になっています。

- 教育長(鈴木 司郎) それぞれ新しい教科書を見ていただいて、貝塚市の子どもたちにとって課題があると思われる部分があれば教えてください。須貝 一徳 学校教育課主幹。

- 学校教育課主幹(須貝 一徳) 本市の子どもたちの様子を見て、課題と思われる部分を各者説明させていただきます。

東京書籍は、2年生にでてくる「ノートづくり方」の説明において、本市にとっては使いにくくなっています。各校の取組みやスタンダードにより、指導を行っているため、指導の難しさがあると思われま。

学校図書は、「勇気の花がひらくとき」という平和学習とも関連付けられる教材が分冊となっている5年の下の教科書に載っております。本市では、各校とも夏休み前に平和学習を重点的に行っているため、下の教科書にあるということが、指導が難しくなる点かと思われま。

光村図書出版は、4年生で「誰もが関わり合えるように」という点字・障がいについての学習が5年生に移動しています。本市では、4年生で重点的に障がいについて学習に取り組んでいる学校が多いため、指導が難しくなると思われま。

- 教育長(鈴木 司郎) 経験年数が少ない教職員も貝塚市にはたくさんいます。そういう先生方にとっても使いやすい教科書については、それぞれどうですか。須貝 一徳 学校教育課主幹。

- 学校教育課主幹(須貝 一徳) 3者どれにおいても、つけたい力や学習の流れがわかりやすく、見通しをもって学習できるつくりとなっているので、単元の流れにそって学習することで、経験年数の少ない先生も指導しやすくなっています。

その中でも、3者それぞれに特徴的なのがまとめのところですので、それを説明します。

東京書籍は、単元末や学年末に定期的に学習のふりかえりがあり、学習への意欲や主体性が高まる内容が取り上げられています。

学校図書は、巻末には学習の重点や用語を整理しており、ふりかえりに使うことができます。

光村図書出版は、ふりかえりから「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」という流れになっており、発展的な学習につなげることができます。

- 教育長(鈴木 司郎) 他に質問ございませんか。

質疑は終わったものと認めます。これより委員各位からのご意見を伺います。

- 教育長(鈴木 司郎) よろしいですか。それでは、私の方から今の意見を踏まえまして、教育委員会で学習した結果、それぞれの教科書に、良い所、貝塚にとっての課題があります。まず一つ目は、

今使っている現行の教科書の中で課題がなかったということ、それから、今の教科書の物語文というものはほとんど同じようなもの、そしてそれについてしっかりと精査した教材研究が進んでいるところがある。説明文については、かなり入れ替えが行われていて、2つ連続で説明文等があって、それが今つけた力をもう一回同じように次の説明文で自分の力を試せるというような構成も、今回新しくつけられている。そういうことを踏まえて、単元の流れも構成が上手く流れるようになっていく。それから、最初につけたい力等もきちんと書かれていて目当てもはっきりしているということで、今回は、今使っている光村図書出版の教科書を続けて使って参りたいと考えます。

○教育長（鈴木 司郎） 意見も終わったようですので、これより採決いたします。

国語に関しましては、当市は、光村図書出版の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。よって国語に関しましては、当市は、光村図書出版の教科書を採択することに決定いたしました。

○教育長（鈴木 司郎） 次に書写に移ります。書写について意見具申をお聞かせください。

須貝 一徳 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（須貝 一徳） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるように内容が編成されています。

東京書籍は

- ・ 筆記具の持ち方を正しくし、点画の書き方や文字の形に注意しながら、丁寧に書くことが取り上げられている。
- ・ 「生活に広げよう」では、生活や学習活動に役立つ活動が取りあげられている。
- ・ ポスターの書き方について考える活動では、文字の大きさや要旨の上下左右の余白、文字の書く位置に気をつけて書くことができるように工夫されている。

教育出版は

- ・ 「書写の資料館」では、他教科と関連させた学習が示されている。
- ・ 「ふり返ろう」で学習内容を活用した練習問題を行う構成となっている。
- ・ 掲示物、ホワイトボード、黒板、メモ、はがき、手紙などそれぞれにあった書き方の工夫などが記載されている。

日本文教出版は

- ・ 文字を書く基礎となる事項について、発達段階を配慮した内容となっている。
- ・ 「しせいの合言葉」が示されており、姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、点画の書き方や文字の形に注意しながら、丁寧に書くことが取り上げられている。
- ・ 各学年の目標や内容を踏まえており、他教科と関連させた学習が示されている。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 書写に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。委員各位からの質疑をいただきます。田中 廉久 委員。

○委員（田中 廉久） 3者の特徴を教えてくださいのと、毛筆なんかでの筆圧の抜き方など3者でどのような差があるか教えてください。

○教育長（鈴木 司郎） 須貝 一徳 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（須貝 一徳） まず、3者の特徴についてお話しさせていただきます。

ふりかえりの場面について、特徴がございます。

東京書籍は「対話的」な形で、教育出版と日本文教出版では「主体的」に行うような構成になっております。

東京書籍では、話し合い活動でふりかえりを行う形になっております。教育出版では、二重丸・丸・三角の記号を用いて自分でふりかえりを行うようになっております。日本文教出版では、「めあて」を書く欄が大きく、そこからこれまでの学習を含めてふりかえりを行うような形になっております。

二つ目の毛筆のところのご説明をさせていただきます。各者、「平和」「道」のしんによろ、それを例にご説明いたします。

東京書籍は、「平和」は起筆が弱く、「和」のところにかすれがございました。「道」では、しんにょうの2画目と3画目の上下の大きさは同じ大きさとなっております。

教育出版は、「平和」の字は、起筆が弱かったです。「道」は、しんにょうの2画目と3画目の上下の大きさは、同じ大きさでした。

日本文教出版は、「平和」は起筆が強かった。「道」は、しんにょうの2画目と3画目の大きさが異なっております。

○教育長（鈴木 司郎） 他に質疑ございませんか。

それでは、委員各位からのご意見を伺います。

○教育長（鈴木 司郎） 3者見せていただきました。先ほどの「平和」「道」「正月」という字、習字については、子どもたちに教えるとなると、起筆、止め、はらい、そういうのが貝塚の子どもたちにとって、あいまいではなくしっかりしているものがいいと思います。そういう意味で言うと、日本文教出版の文字が貝塚の子どもたちにとっては、一番いいのではないかと。それから、「めあて」と「ふりかえり」も中に書き込めるようになっている。子どもたちにとって、分かりやすいと思います。

「対話的」な学びという点では、東京書籍等のやり方も大事だと思うが、そのあたりは学校現場の中で「めあて」を書いた後、しっかりと話し合い活動も通して自分の字をふりかえっていくということをやっていたきたい。

○教育長（鈴木 司郎） 意見も終わったようですので、これより採決いたします。

書写に関しましては、当市は、日本文教出版の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。よって書写に関しましては、当市は、日本文教出版の教科書を採択することに決定いたしました。

○教育長（鈴木 司郎） 次に社会に移ります。社会について意見具申をお聞かせください。

西原 和隆 教育研究センター主幹。

○教育研究センター主幹（西原 和隆） 各者とも、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるように内容が編成されています。

東京書籍は

- ・ 「つかむ→調べる→まとめる→いかす」の流れで全単元が進められており、年間を通して学習計画をたてやすいように工夫されている。
- ・ すべての児童にとって使いやすく分かりやすいように、フォントや文字の大きさレイアウトや図の配色などが配慮されている。
- ・ 教科書に示した、典型的な学習の流れを「まなびのポイント」で示し、地域の実態を活かした、学習指導に活用できるようになっている。

教育出版は

- ・ 「つかむ→調べる→まとめる→つなげる」の流れで全単元が進められており、「ひろげる」のページでは、学んだことにかかわるコラムや資料を多く掲載するなど、児童の興味関心に応じて活用できるよう取り扱われている。
- ・ 様々な教材を通して人権尊重についての認識を深めるとともに、文章・写真・挿絵・図・資料など人権尊重の観点において配慮されている。
- ・ 5年生の教科書に、「泉州黄たまねぎ」が取り上げられていることで、児童が自分たちのまちである貝塚に誇りを持ち、他の伝統文化にも興味を持ちやすくなっている。

日本文教出版は

- ・ 主単元以外にも、選択単元、類似した応用事例を取り上げた特設ページなど、児童の実態に合わせて選択できるようになっている。
- ・ すべての学年において、世界の人々との共生について学び、考えていくことができるよう取り扱われている。
- ・ 「わたしたちの学びを生かそう」において、単元末に発展的な内容を取り上げることで、主体的な学び、深い学びにつなげやすいようになっている。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3者を推薦いたします。

- 教育長（鈴木 司郎） 以上、社会に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。委員各位からの質疑をいただきます。西村 卓也 委員。
- 委員（西村 卓也） 写真が豊富に入っていると興味が湧いてくると思います。私が気になったのは、きのご雲の写真が載っていたりいなかったり、マッカーサーの写真が昔は載っていたりしたが、そういうことについての出版社による違いはありますか。
- 教育長（鈴木 司郎） 西原 和隆 教育研究センター主幹。
- 教育研究センター主幹（西原 和隆） きのご雲に関しては、すごく話題になっております。アメリカできのご雲の写真を使った施設があると先日新聞に載っておりました。そのきのご雲の下にあったのが、市民であり、建物であったということから、今回の教科書にはきのご雲というものが取上げておりません。

- 教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。

人権教育、平和学習であるとか、先ほどあったような、人権の視点について配慮されているということが教育出版の中にも出ていましたが、そういう人権教育全体について、各者どんな感じなのか。部落問題の表記や記述がどうなっているのか。そのあたりについて、ご説明いただけますか。

西原 和隆 教育研究センター主幹。

- 教育研究センター主幹（西原 和隆） 貝塚市は人権教育を大切にしております。

まず、部落問題に関する記述に関しては、室町時代から江戸時代に差別された人たちの技術力、解体新書、身分制度、解放令、全国水平社宣言に至るまでの歴史的背景について、表記の量に違いはあるものの、どの教科書も記述されています。

また、中には公民分野におきまして、憲法の三つの原則の一つである基本的人権の尊重についての学習ページに、「ハンセン病の人権侵害」や「アイヌの人たちの権利獲得までの軌跡」など、歴史的に虐げられてきた人たちの人権を取り上げている教科書もありました。

- 教育長（鈴木 司郎） それは、どの教科書ですか。西原 和隆 教育研究センター主幹。

- 教育研究センター主幹（西原 和隆） 教育出版で取り上げられております。

- 教育長（鈴木 司郎） 他にご質問ございませんか。

質疑は終わったものと認めます。これより委員各位からのご意見を伺います。

- 教育長（鈴木 司郎） 社会科の教科書の中で、いろいろな意見をしっかり子どもたちが考えることができる教科書、社会的な見方・考え方をしっかりできる教科書が大切であると考えています。いろいろな記述の中で、一方的な押し付けではなく、子どもたちがしっかり考えられる書き方がされていたり、人権的な視点というものがしっかり盛り込まれている量や角度、そういう点から考えますと、今回は、教育出版の教科書が一番すぐれているのではないかと考えます。

- 教育長（鈴木 司郎） 意見も終わったようですので、これより採決いたします。

社会に関しましては、当市は、教育出版の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。よって社会に関しましては、当市は、教育出版の教科書を採択することに決定いたしました。

- 教育長（鈴木 司郎） 次に地図に移ります。地図について意見具申をお聞かせください。

西原 和隆 教育研究センター主幹。

- 教育研究センター主幹（西原 和隆） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるように内容が編成されています。

東京書籍は

- ・ 世界の人々のくらしや文化等の写真があり、国際理解について考えることができる。
- ・ 見開き3ページで、1度に日本列島の地形や交通網の特色について理解できるよう400万分の1の地図を掲載している。
- ・ アイヌ語の意味と地名のつながりが表現されている。

帝国書院は

- ・ 100万分の1の地図で貝塚市が掲載されている。

- ・ 広島市の原爆被害の様子が書かれており、平和学習で活用しやすい。
- ・ 世界の人々の暮らしや文化等の写真や、巻頭世界地図で世界の国々の言葉で「こんにちは」をイラスト付きで説明するなど、国際理解や多様な言語について学習を深められる。外国語の授業でも活用でき、教科横断的内容になっている。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、帝国書院の2者を推薦いたします。

- 教育長（鈴木 司郎） 以上、地図に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。委員各位からの質疑をいただきます。西村 卓也 委員。
- 委員（西村 卓也） 100 万分の1の地図で貝塚市が掲載されているということですが、その意味は大きいですか。
- 教育長（鈴木 司郎） 西原 和隆 教育研究センター主幹。
- 教育研究センター主幹（西原 和隆） 100 万分の1で掲載されているということで、子どもたちが地図帳を手にしたとき、自分たちが住んでいるところはどこかとか、自分たちの住んでいる周りはどこなところなのかがまず気になる場所です。そこで、貝塚という文字を見つけたときの子どもたちの喜びは大きいのではないかと考えます。
- 教育長（鈴木 司郎） 他の質疑ございませんか。
- 質疑は終わったものと認めます。これより委員各位からのご意見を伺います。西村 卓也 委員。
- 委員（西村 卓也） 地図というのはなかなか見る機会が少ないと思うのですが、子どもが授業の中ではなくて勝手に家で見たりしていると思う。例えば、低学年、高学年、中学、高校となるにしたがって、貝塚市から泉州、大阪府、近畿、日本、アジア、世界と行動範囲が広がっていく。そういうときに、地図を見て興味を持つ。東京書籍もいいが、帝国書院が優れている感じがしました。
- 教育長（鈴木 司郎） 前回は貝塚は載ってなくて、その指摘がありました。今回も貝塚というのは、そこには載っておりません。やはり子どもたちにとって、使いやすい100 万分の1の地図であっても、地図は子どもたちにとって身近な貝塚は載ってほしい。そういう地図を採択したいと思います。
- 教育長（鈴木 司郎） 意見も終わったようですので、これより採決いたします。

地図に関しましては、当市は、帝国書院の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。よって地図に関しましては、当市は、帝国書院の教科書を採択することに決定いたしました。

- 教育長（鈴木 司郎） 次に算数に移ります。算数について意見具申をお聞かせください。
- 松井 大祐 学校教育課指導主事。
- 学校教育課指導主事（松井 大祐） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるように内容が編成されています。

東京書籍は

- ・ プログラミングや他教科との繋がりを意識させる記述が多いので、算数を実生活に生かす意識が付きやすい。
- ・ 他社に比べ、吹き出しや「ふり返りメモ」などで考える観点が多く書かれていて、授業でポイントを落とさない工夫がある。
- ・ 思考力を育む問題があり、教科書に沿って課題に取り組むだけで、発展的な問題にふれることができる。

教育出版は

- ・ 単元の扉のページから単元全体に、課題や内容が繋がっている単元構成で、興味関心・見通しをもって学習に取り組むことができる。
- ・ 用語、解き方、基準となる位や単位など、ポイントとなる箇所を線で囲って目立たせており、またその内容も一般化して書かれているので、状況が変わっても使うことができるようになっている。
- ・ 単元の最後でプログラミングと兼ね合わせた問題があり、プログラミングに関する学習が意識されている。

日本文教出版は

- ・ 見やすい配列で、児童が何について取り組むのかがわかりやすい。
- ・ 情報量が厳選されており、教科書に示されている課題を見た児童が、自力で考え、友達と練り上げることによって、理解を含める構成になっている。
- ・ 「身のまわりの～を調べよう」という活動が多くあるので、算数の知識を生活に生かそうとする意識がつきやすい。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、算数に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。委員各位からの質疑をいただきます。

○教育長（鈴木 司郎） 今回の学習指導要領の改訂、「主体的・対話的で深い学び」という点、それから数学的な活動というものをどのように意識した教科書が作られているのか、教えてください。

松井 大祐 学校教育課指導主事。

○学校教育課指導主事（松井 大祐） 3者どれにおいても、数学的活動を意識したつくりとなっています。

東京書籍では、割合に関する内容の充実として、ウサギの混み具合について取り上げ、見た目だけでなく割合で混み具合を調べるという記述があり、様々な事象を数学的にとらえる点として優れていると考えます。また、他教科との関連やプログラミングについても意識されているものとなっています。

教育出版では、割合の導入に「正しくない理由」を考えることを持ってきており、考えやすい工夫があります。また、単元の終わりの復習に入る前に、「学んだことを使おう」というコーナーがあり、実生活の中で算数がいきているということを実感できるような課題設定がなされています。また、欄外にあるコラムが大変充実しております。「よくある間違い」というコーナーは児童が勘違いしそうなポイントを丁寧に説明しており、より深い理解に近づくものと考えられます。

日本文教出版では、「身の回りの～を調べよう」という中で、学んだことを日常生活の中で活用しようという部分が多く示されており、また、情報量が厳選されており、その分ヒントが少ないということを考えますと、児童が自力で解決しようという力をつけることができる配列となっています。

○教育長（鈴木 司郎） 他に質疑ございませんか。

3者それぞれの知識や以後の定着について、どの教科書が優れているのか、試行とか判断に、どの教科書が優れているのか。そういう点で教科書の構成、3者の特性を教えてくださいませんか。

松井 大祐 学校教育課指導主事。

○学校教育課指導主事（松井 大祐） 今回特に「教科書の構成」を重視して選定を行っています。

東京書籍では、「プログラミング教育の充実」が挙げられます。5年生の上下巻から6年の教科書にわたって、プログラミングについての記述展開がされており、東京書籍の強みであると考えます。

教育出版の特徴は、単元の扉のページの構成が大変よくできておりまして、単元の扉のページが単元全体において活用でき、見通しが持ちやすいということが特徴として挙げられます。また、用語の定義づけがしっかりなされており、どの場面でも使うことができる力を育むことができるという特性があります。

日本文教出版は、厳選された情報量の中で、ヒントが少ない部分で友達と対話しながら考えようという意識が働きやすいと考えます。

○教育長（鈴木 司郎） 他に質疑ございませんか。

質疑は終わったものと認めます。

これより委員各位からのご意見を伺います。浅田 真由美 委員。

○委員（浅田 真由美） 今回、新学習指導要領の元、子どもたちがすごく意欲的に取り組む様子、いろいろな考え方、おもしろさが出てくると思えました。私は特に、教育出版の単元の始まりというところがすごくおもしろいなと思えました。初めに「どんな学習が始まるのかな。」と書いてある。子どもたちが、考えたいと思う内容になっていると思えました。自然と「主体的・対話的で深い学び」ができるように、仕掛けられているようにも思いました。5年生では、正多角形を学習する時間に、プ

プログラミング学習がありました。コンピューターを使ってプログラムを考えるというのは、今回初めてですが、すごく楽しい時間になると思います。子どもたちにとって、算数は学年が上がるにつれて、楽しいと思える子どもと苦手かなと思う子どもに分かれていく傾向があります。算数は計算をするだけではなくて、身近なところに数のおもしろさがあるということに気が始めると、算数っておもしろいだろうなと思う子どもが増えていくと思います。また、教育出版の単元の終わりには、「学んだことを使おう」というコーナーがありました。このコーナーでは、算数を使って日常生活に繋がられるような工夫がされていました。2年生では、時間の使い方を考えたり、身の回りにおけるいろいろな数を見つけて、どんな役割があるかを考えたりします。3年生の教科書では、100メートルや1キロメートルを実際に歩いて感覚を覚える体験をしたり、身の回りの単位を見つけて単位図鑑を作ることになっています。5年生では、円の長さを使って、グラウンドに100メートル走のコースを書いてみるという取り組みがありました。このように、目先を変え、子どもたちの興味を引き出してくれる工夫がたくさんありました。私は、このような点から、教育出版を推薦したいと思います。

○教育長（鈴木 司郎） 他にご意見ございませんか。

○教育長（鈴木 司郎） ご意見も終わったようですので、これより採決いたします。

算数に関しましては、当市は、教育出版の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。よって算数に関しましては、当市は、教育出版の教科書を採択することに決定いたしました。

○教育長（鈴木 司郎） 次に理科に移ります。理科について意見具申をお聞かせください。

西原 和隆 教育研究センター主幹。

○教育研究センター主幹（西原 和隆） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるように内容が編成されています。

東京書籍は

- ・ 3年から6年まで問題解決学習の流れを4年間貫いて示していると共に、「学ぶ前の私」「学んだ後の私」で、学習して分かったこと、できるようになったことをふり返らせる工夫がされている。
- ・ A4サイズで写真や文字がとても見やすいうえに、ページ数が少なく軽い。
- ・ プログラミングや自然災害など新しい学習内容についての扱いが良い。

教育出版は

- ・ 各学年でつきたい力（重点目標）を設定し、系統的に問題解決力を育む配慮がされている。
- ・ 班による結果の違いや予想通りにいかなかった例を挙げ、原因追求や追実験につなげようとしており、論理的思考力を育むつくりになっている。
- ・ 「貝塚」のこと（近木川クリーンキャンペーン・自然遊学館・アンモナイトの化石等）を掲載している。

啓林館は

- ・ 写真の見せ方がとても良いため、観察や実験が失敗しても、教科書の写真で分かりやすく授業をすることができる。
- ・ 各単元にノートまとめのページがあるため、自主学习につなげやすい。
- ・ 単元末に生活とつなげるコラムがあり、児童が生活の中から課題を見つけたり解決したりしたい、という意欲につながる。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、教育出版、啓林館の3者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、理科に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。委員各位からの質疑をいただきます。

○教育長（鈴木 司郎） 今回の学習指導要領改訂の理科の特徴、また改訂の趣旨に沿っている教科書の部分を教えていただきたい。西原 和隆 教育研究センター主幹。

○教育研究センター主幹（西原 和隆） まず、改訂のポイントですが、内容構成に関して、小・中学校7年間を通した「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とした構成になっています。自然に親し

み、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すなどの問題解決の活動をさらに充実することとしています。どの教科書も、改訂の趣旨に沿うよう、内容が考えられています。特に、問題解決の活動の流れに関しては、どの教科書も日常生活の疑問からなぜそうなるのかを予想し、実験・観察をする中で結果に導く流れとなっています。また、その結果よりわかったことを整理し、また日常生活と結びつけるようになっていきます。中学年に関しては、予想して考察させるという過程が少し弱いと思われる教科書もありますが、その部分にも力を入れられている教科書が良いかと思えます。

○教育長（鈴木 司郎） それぞれの教科書の貝塚市における良い所、問題点を教えていただきたい。
西原 和隆 教育研究センター主幹。

○教育研究センター主幹（西原 和隆） 良い点におきましては、一貫して、課題を掴んで予想、実験、観察、結果、ふりかえりをするという流れが、どの教科書にも組み込まれている。

問題点に関してですが、まず、東京書籍についてですが、各単元末にある「たしかめよう」の難易度が高いと考えられます。教育出版についてですが、導入において児童の生活経験から予想させ、自分なりに考えをもたせた上で観察や実験に入るようにする部分で、少し弱い部分が見受けられます。啓林館についてですが、各単元末の「たしかめよう」において、基本的な内容の確認から、活用問題まで幅広く用意されているものの、問題の量が少ないという点が挙げられます。

○教育長（鈴木 司郎） 他に質疑ございませんか。

質疑は終わったものと認めます。これより委員各位からのご意見を伺います。田中 廉久 委員。

○委員（田中 廉久） 私は、東京書籍を推薦します。写真や絵が綺麗で分かりやすい。興味を持って授業に入ることができるのではないかと思います。入り方や進め方ですが、まず問題を掴み、調べて理由をつけて予想する、この部分が東京書籍では重点的に書かれている。調べるということは、観察や実験であり、その結果を整理していく。最後にまとめて、学んだことを活かしていく。そういう面で、東京書籍はすばらしいと思いました。第2の理由として、予想したり計画を見直したり、モデルが示され、子どもたちの理解力が上がり、スムーズに実験や観察に移行できるのではないかと。第3の理由として、理科室で安全に実験をするということで、器具の扱い方など写真や図で示して分かりやすく記されている。このような点から、東京書籍を推薦します。

○教育長（鈴木 司郎） 他にご意見ございませんか。

○教育長（鈴木 司郎） ご意見も終わったようですので、これより採決いたします。

理科に関しましては、当市は、東京書籍の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。よって理科に関しましては、当市は、東京書籍の教科書を採択することに決定いたしました。

○教育長（鈴木 司郎） 次に生活科に移ります。生活科について意見具申をお聞かせください。

宮脇 大貴 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（宮脇 大貴） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるように内容が編成されています。

東京書籍は

- ・ ポケットずかんが切り取りでき、容易に持ち運ぶことができる。また、実物大で葉っぱや木の実が描かれている。
- ・ 自分自身や身近な人、社会及び自然についての理解や生活上必要な技能について、適切な内容が取り上げられている。
- ・ 各単元の本文が「・・・かな」で表されている。優しい問いかけによって児童の探求心が育つ配慮がされている。

大日本図書は

- ・ あえてモノクロのページをつくることで次のページのカラーのページを強調する構成となっている。
- ・ 右頁右端に示されている「はなし方きき方めいじん」や「せいかつことば」の内容が豊富である。

- ・ 「がくしゅうどうぐばこ」の内容も充実している。

啓林館は

- ・ 必要以上の説明が省かれ、自分で考えるように促すなげかけが多い。
- ・ 学習を進めるうえでの情報が多く、児童が自ら調べて解決できる主体的な学びになるように配慮されている。
- ・ 各単元は「わくわく（導入）」「いきいき（活動）」「ぐんぐん（振り返り）」と3部構成となっている。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、大日本図書、啓林館の3者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、生活科に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。委員各位からの質疑をいただきます。樽谷 栄子 委員。

○委員（樽谷 栄子） 子どもたちが見てワクワクするような教科書は、どこになりますか。

○教育長（鈴木 司郎） 宮脇 大貴 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（宮脇 大貴） 東京書籍では、扱っている写真の子どもたちの表情がとても魅力的です。写真は大きいものが多く、ぱっと見ただけで、「楽しそう！」「自分たちもやってみたい！」と、子どもたちの意欲をかきたてます。また、学習のめあてを示す本文は、「どうしたらたのしくなるのかな」「どんないきものがいるのかな」など、優しく一人ひとりに考えさせる問いかけになっています。

大日本図書は、上下とも、「うわっ」と驚くページがあり、あえて前半にモノクロのページを入れて、その次に続くカラーのページを強調する作りになっています。啓林館は、導入部分の「わくわく」、活動の「いきいき」、ふりかえりの「ぐんぐん」で構成されています。「わくわく」で、子どもたちの思いや願いを盛り上げ、「いきいき」では見る・聞く・触れるなど体験をして、「ぐんぐん」ではさまざまな表現活動を通してふり返りをしています。

○教育長（鈴木 司郎） 他に質疑ございませんか。

質疑は終わったものと認めます。これより委員各位からのご意見を伺います。

○教育長（鈴木 司郎） 私は、東京書籍の教科書を今回採択したいと考えております。理由といたしまして、子供たちが学校に入って1年、2年で生活科と学習する学校に慣れていく、スタートカリキュラムの技術が優れていることでしたり、ワクワクするような内容構成になっている。それから、子どもたちがポケット図鑑を持って行って実物大のものを見ながら自然と比較しながら、興味を持って進めていくことができる。そういうことで、非常に使いやすく楽しい教科書、生活科が楽しくなるだろうと思いますので、今回、東京書籍を採択したいと思います。

○教育長（鈴木 司郎） ご意見も終わったようですので、これより採決いたします。

生活科に関しましては、当市は、東京書籍の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。よって生活科に関しましては、当市は、東京書籍の教科書を採択することに決定いたしました。

○教育長（鈴木 司郎） 次に音楽に移ります。音楽について意見具申をお聞かせください。

永井 隆幸 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（永井 隆幸） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるように内容が編成されています。

教育出版は

- ・ 「音楽を表すいろいろな言葉」が、すべての学年で巻末にまとめられており、鑑賞後、自分の気持ちを表現する際の参考資料として活用することができる。
- ・ 1年生の音楽づくりの題材「ほしのおんがく」では、星の絵をつなぐ活動をしながらか旋律が作れるようになっており、子どもたちに興味を持たせることができる。
- ・ 「学び合う音楽」という項目を設け、5・6年生が二部合唱する際に、一連の流れが設定されていて、子どもたちは教科書を使いながら主体的に活動することができる。

教育芸術社は

- ・ 「○年生の学習」として、冒頭に1年間に学習する内容がわかりやすく示されているとともに

に、目次が単元ごとに色分けされており、順番通りにレイアウトされているためわかりやすい。

- ・ 1年生の音楽づくりでは、音を3つ選んで旋律を作る活動が設定されているが、書き込みができるようになっていて作業しやすく、多様な活動が紹介されているので、子どもたちが興味を持って取り組むことができる。
- ・ 6年生の「ラバース・コンチェルト」は6ページに渡って扱われており、パートの役割を考えたり、ボイスパーカッションを取り入れたり、子どもたちが興味を持って取り組める活動になっている。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、教育出版、教育芸術社の2者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、音楽に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。委員各位からの質疑をいただきます。浅田 真由美 委員。

○委員（浅田 真由美） 貝塚市の子どもたちが使いやすいと思う教科書で、こういうところが使いやすいという部分を教えてください。

○教育長（鈴木 司郎） 永井 隆幸 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（永井 隆幸） 最初の目次ですが、教育芸術社は単元ごとに色分けされていたり、その単元の中に様々な曲が盛り込まれていたりして、常に学習の見通しがもてるような作りになっています。そういう意味で、教育芸術社の教科書というのが、今の貝塚市の子どもたちの音楽活動においては、すごく使いやすい教科書になるのではないかと考えております。一方、教育出版の方は、発達段階に照らしたときに、レベルの高い曲が盛り込まれていまして、子どもたちの力をさらに高めていきたい場合には、教育出版の教科書も効果が出るのではないかと考えております。

○教育長（鈴木 司郎） 他に質疑はございませんか。

質疑は終わったものと認めます。これより委員各位からのご意見を伺います。樽谷 栄子 委員。

○委員（樽谷 栄子） 私は、教育芸術社を推薦したいと思います。なぜかという、先ほどもおっしゃったように目次がすごく子どもにとって見やすく良いと思えました。3年生の教科書を見たときに、タンギングの表記が一つのローマ字を使って表現されていたり、リコーダーの指番号もしっかり記載されているので、子どもにとって分りやすいと思えたので、教育芸術社を推薦したいと思います。

○教育長（鈴木 司郎） タンギングの表記の話がありましたが、これから外国語も入ってくるわけで、そういう表記がされているのは良いことだと思えました。教育出版のほうは「ツ」ともう一つ「ウ」という表記があるのですが、これは貝塚市の学校では使っていないですね。私も教育芸術社でいきたいと思えます。

○教育長（鈴木 司郎） ご意見も終わったようですので、これより採決いたします。

音楽に関しましては、当市は、教育芸術社の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。よって音楽に関しましては、当市は、教育芸術社の教科書を採択することに決定いたしました。

○教育長（鈴木 司郎） 次に図画工作に移ります。図画工作について意見具申をお聞かせください。

須貝 一徳 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（須貝 一徳） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるように内容が編成されています。

開隆堂出版は

- ・ 制作過程を詳しく示さず、作品の完成例を多く取り上げることで、児童が主体的に考えたり、自然にペアやグループでの対話が生まれたりするよう工夫されている。
- ・ 一つの題材に対して、様々な技法や表現のアイデアが示されており、児童が主体的に表現できるよう工夫されている。
- ・ QRコードのあるページでは、学習に役立つ情報や技法をウェブサイトで見ることができる。

日本文教出版は

- ・ 心の様子など、抽象的なテーマが多く設定されており、自分の思いをより広く表現できるよう

工夫されている。

- ・ 写真や吹き出しを使って、創作の工夫や相互鑑賞の視点を示し、児童が見方や考え方を深められるよう考慮されている。
- ・ 制作の行程がわかりやすく示されており、図工が苦手な児童にとって完成までの流れがわかりやすい。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、開隆堂出版、日本文教出版の2者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、図工に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。委員各位からの質疑をいただきます。浅田 真由美 委員。

○委員（浅田 真由美） QRコードがありますが、そのQRコードを使って授業中に見る時間は、作品を作る時間を削ることになるのではないかと思うのですが、その点はどうですか。

○教育長（鈴木 司郎） 須貝 一徳 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（須貝 一徳） 確かに、時間を削るという部分はございます。しかし、QRコードによって、制作の過程が分かるという部分が示されていますので、教科書の流れをQRコードで映し、みんなで見て、一緒に進めていき、時間を削らなくて済むというところもあります。一方で、作品や見本などは、鑑賞の部分というところで活用できるかと思えます。制作の参考という部分でいきますと、やはり、教科書を見る方が時間は削らなくて済むと思えます。

○教育長（鈴木 司郎） 他に質疑ございませんか。

質疑は終わったものと認めます。これより委員各位からのご意見を伺います。浅田 真由美 委員。

○委員（浅田 真由美） どちらの教科書にも、子どもたちの作品がたくさん掲載されていて、明るく楽しそうな教科書という印象を受けました。子どもたちに、描いてみたい、作ってみたい、と思わせる工夫がたくさんありました。授業で使用すると、学習のめあてが子どもたちに一目で分かるように書かれていますので、現場の先生、友達と共に、自然と「主体的、対話的で深い学び」に取り組めるように思いました。特に、開隆堂出版の教科書には、道具や材料の絵の下に名前が一緒にありますので、非常に分かりやすいです。「ふりかえり」の欄に書いてあるコメントが疑問文で示されているので、子どもたちが自由に感じたことを書ける工夫がされているように思いました。図画工作とは、子どもたちにとって、のびのびと自分の考えで自由な作品を作る楽しさがあります。型にはまらない、また、アイデアを引き出してくれる教科書を貝塚市の子どもたちに使ってもらいたいと思います。このことから、私は、開隆堂出版の教科書を推薦したいと思います。

○教育長（鈴木 司郎） 他にご意見ございませんか。

○教育長（鈴木 司郎） ご意見も終わったようですので、これより採決いたします。

図画工作に関しましては、当市は、開隆堂出版の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。よって図画工作に関しましては、当市は、開隆堂出版の教科書を採択することに決定いたしました。

○教育長（鈴木 司郎） 次に家庭科に移ります。家庭科について意見具申をお聞かせください。

永井 隆幸 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（永井 隆幸） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるように内容が編成されています。

東京書籍は

- ・ 各題材の最初に、「生活の営みに係る見方・考え方」の四つの視点の内、いずれを働かせて考えるのかがわかりやすく示されている。
- ・ 2年間の見通しを持つことができる目標・内容となっており、学習の進め方も3段階で示されていてわかりやすい。
- ・ A4判になっていることで、写真が大きくなり、字間にもゆとりができ、かつユニバーサルデザインフォントが使用されていて、子どもたちに優しい配慮がなされている。

開隆堂出版は

- ・ 目次に「生活の見方・考え方」の4つの視点が示されていて、子どもたちが見方・考え

方を働かせながら家庭科の学習を進められるよう構成されている。

- ・ 巻末の伝統文化を扱ったページに外国人を登場させ、共生社会について意識させている。
- ・ 食物アレルギーについて、「いのちを守る」という視点から書かれている。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、開隆堂出版の2者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、家庭科に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。委員各位からの質疑をいただきます。浅田 真由美 委員。

○委員（浅田 真由美） どちらの教科書も非常に分かりやすい印象でした。ただ、東京書籍の教科書は、開隆堂出版と比べて、情報量が多いと思います。すべての内容を授業時間内に教えることは、できるのでしょうか。

○教育長（鈴木 司郎） 永井 隆幸 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（永井 隆幸） 確かに、東京書籍の方は今回A4版になっており、情報量が多いと思います。学習指導要領に記載されている内容については、もちろん指導しなければなりません。東京書籍の教科書には発展的な内容や補完的な内容も多く含まれており、その部分については、子どもたちの実態や、学校・地域の実情、指導時間数などを踏まえながら、指導者が取舍選択しながら指導していく必要があると思います。なので、確かにボリュームはありますが、子どもたちに応じた形で、その情報を提供していくという使い方ができる教科書だと思います。

○教育長（鈴木 司郎） 他にございませんか。浅田 真由美 委員。

○委員（浅田 真由美） どちらの教科書にも言えることですが、各ページに英語の単語の表記がされています。巻末には、英単語の一覧表が載っていました。家庭科の教科書に外国語が載っているのはなぜですか。

○教育長（鈴木 司郎） 永井 隆幸 学校教育課主幹。

○学校教育課主幹（永井 隆幸） 東京書籍の方は、各ページの右端の方に英単語が出て来て、次のページの左下に日本語訳が出てくるという形になっています。開隆堂出版の方は、巻末にまとめて掲載されています。今回の学習指導要領の改訂のポイントとして、グローバル化が挙げられており、それに対応するため、外国語が含まれていると考えております。特に家庭科は、日常生活に非常に結びついた教科であるので、日常生活で使うような言葉が授業の中で複数出てきます。そういう意味から、他の教科に比べて、日常生活で使う言葉というのが授業の中で複数回出てきます。他の教科に比べて家庭科の中で外国語を扱いやすいという面からも、どちらの教科書にも外国語が盛り込まれていると考えております。

○教育長（鈴木 司郎） 他に質疑はございませんか。

質疑は終わったものと認めます。これより委員各位からのご意見を伺います。

○教育長（鈴木 司郎） 今、質問していただいた答えやトータルで考えていきますと、東京書籍の方はかなり情報量が多いことが、家庭科の学習にプラスになるのか、マイナスになるのか、という点で、教科書の中にあれだけのことが含まれていながら実習とかを考えていくことをするのであれば、これから子どもたちが生きていく中で、あの情報量を活用していってくれるくらいでないとする意味困るのではないかと思います。「SDGs」持続可能な社会の実現に向けても、やはり子どもたちは、あれくらいの情報量を持ちながら、しっかりと学習を進めていってほしいと思います。開隆堂出版の教科書につきましても、厳選された内容にはなっているが、中に出てくる写真等が少し古いような気がします。もう少し、今の子どもたちに合った写真になっていれば良かったと思います。今回は、東京書籍を使って、しっかりと勉強してほしいと思います。

○教育長（鈴木 司郎） ご意見も終わったようですので、これより採決いたします。

家庭科に関しましては、当市は、東京書籍の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。よって家庭科に関しましては、当市は、東京書籍の教科書を採択することに決定いたしました。

○教育長（鈴木 司郎） 次に保健に移ります。保健について意見具申をお聞かせください。

松井 大祐 学校教育課指導主事。

○学校教育課指導主事（松井 大祐） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるように内容が編成されています。

東京書籍は

- ・ 1単元が見開き4ページ構成かつ各単元の流れが統一されていて分かりやすく、また教科書に沿って授業を行うことで、各時間の指導内容を網羅できるので、確実に指導を行うことができる。
- ・ 資料からの気づきや自分の考えを書く場面が多いので、言語活動の充実が図ることができる。
- ・ 今日的な課題への対応も含め、発展的な学習内容が多く、その資料が単元ごとに記載されているので、授業の流れにしたがって発展的な学習を行うことができる。

光文書院は

- ・ 1単元が見開き2ページで構成されており、その日の学習内容の見通しを持ちやすいつくりとなっている。
- ・ 資料や自己の経験をもとに考えたり伝えたりする活動が多く、主体的・対話的な学びを実践させることができる。
- ・ 今日的課題を取り上げたり、アスリートのコラムを掲載したりするなど、より発展的な内容にふれることも可能としている。

学研教育みらいは

- ・ 1単元が見開き2ページで構成されており、1時間の学習の進め方が統一されているので、見通しを持ちやすい内容になっている。
- ・ 学習の最後には文章表記でまとめる活動があり、学習した内容を生かそうとする態度につながるができる。
- ・ 今日的な課題への資料や、オリンピック・パラリンピックの選手の写真が掲載されており、発展的な学習への対応も可能となっている。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、光文書院、学研教育みらいの3者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、保健に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。委員各位からの質疑をいただきます。西村 卓也 委員。

○委員（西村 卓也） 東京書籍の場合、4ページ構成になっていることが特徴で、色合いもハッキリしていて、分かりやすいと思いました。先生の学習の進め方とかでメリットはありますか。

○教育長（鈴木 司郎） 松井 大祐 学校教育課指導主事。

○学校教育課指導主事（松井 大祐） 東京書籍が4ページに対して、他の2者が2ページであることに関してですが、東京書籍がほぼどの単元も4ページで構成されている。ただ、取り扱っている内容が倍になっているのではなく、取り扱っている内容は3者とも同じとなっています。何が違うのかと申しますと、東京書籍に関しましては、記入記述欄や資料が豊富であり、各単元の最後に発展的な内容を持ってくるということで、ゆったりとした紙面構成を行っております。そのため、一単元が4ページ構成となっています。光文書院に関しましては、見開き2ページですが、各単元の扉絵にストーリー性があり、児童の興味関心を引くだろうと思う工夫がされています。学研教育みらいに関しましても、見開き2ページですが、中身が大変見やすいものになっており、量・質ともに適切となっております。

○教育長（鈴木 司郎） 他に質疑ございませんか。

○教育長（鈴木 司郎） それぞれの教科書の貝塚の学校現場から見た課題、問題点を教えてください。

松井 大祐 学校教育課指導主事。

○学校教育課指導主事（松井 大祐） 各者とも、指導要領の改訂の趣旨を踏まえた内容となっています。それぞれの課題といたしましては、東京書籍については、ページ数が多いということが、児童の負担感とならないかというのが気になるところです。光文書院については、発展的資料に関して、章の終わりにまとめて掲載されていることが多く、その単元の学習との関連を図る際にページの行き来があり配慮が必要となるのではないかということが気になります。学研教育みらいについて、文字の大

きさやフォントに関しましてユニバーサルデザインが大変意識された作りになっておりますけれども、大事な言葉が強調されている太字が少し目立ちにくく、太字の数自体が少ないのが気になるところで

○教育長（鈴木 司郎） 他に質疑ございませんか。

質疑は終わったものと認めます。これより委員各位からのご意見を伺います。西村 卓也 委員。

○委員（西村 卓也） 東京書籍も光文書院も内容的にはすごくいいと思いました。光文書院の場合は、少し落ち着いた色合いになっていて読みやすいが、インパクトに欠けるような印象を受けました。東京書籍の場合は、比較的イラストや写真が大きく強調されている部分があり、メリハリがあって衝撃を受ける感じがしました。保健はなかなか先生方も難しいと思いますが、インパクトを持たせるとい

う意味では東京書籍を薦めたいと思いました。

○教育長（鈴木 司郎） 書くところが東京書籍にはたくさんあると思います。貝塚市では、保健ノートというものを学校では使っていないということを考えたら、書き込む必要性が出てくるので、この東京書籍を使いながら書き込んで、今回は授業を進めていくという形で一度やってみたいと考えております。

○教育長（鈴木 司郎） ご意見も終わったようですので、これより採決いたします。

保健に関しましては、当市は、東京書籍の教科書を採択することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。よって保健に関しましては、当市は、東京書籍の教科書を採択することに決定いたしました。

○教育長（鈴木 司郎） 次に外国語に移ります。外国語について意見具申をお聞かせください。

赤阪 朋子 教育研究センター主幹。

○教育研究センター主幹（赤阪 朋子） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるように内容が編成されています。

東京書籍は

- ・ 見開き1ページで構成されていて、学習の見通しが立ち、手順が分かりやすいので、児童の学びに向かう力の育成につながる設定になっている。
- ・ 単語と共にイラスト表記があることで、視覚的に学びを補充できる。
- ・ 別冊で単語辞書がついており、2年間の学びを1冊の辞書にまとめることで、様々な活用方法がある。

開隆堂出版は

- ・ 巻末で「書くこと」「聞くこと」の充実を図っていて、巻末の単語表は辞書を引く練習になり、中学校での学びの準備ができる。
- ・ 単元の最後に、ふりかえりの欄がついており、学んできたことの自己評価ができる。
- ・ 下線部の単語を入れ替えることで、多様な表現ができる。

光村図書出版は

- ・ 同じ世代の目線から日本や外国との生活や習慣、行事などを知ることで、国際理解を深めることができる。
- ・ 単元の初めにゴールが示されていることと、1時間の授業が見開き1ページで構成されていて、学習の見通しが立てやすい設定になっている。
- ・ グループでの協働学習が活動形態の中心で、対話的な学びが意図されており、言語活動全体を通して、自分の考えや気持ちを伝え合う力がつくように配慮されている。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、東京書籍、開隆堂出版、光村図書出版、の3者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、外国語に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。委員各位からの質疑をいただきます。浅田 真由美 委員。

○委員（浅田 真由美） 初めての外国語の教科書の採択ということですが、先生方がどういった内容のことを子どもたちに伝えるか、教科書を選ぶ時に、難しい方がいいのか、少しやさしい方がいいのか。貝塚市の子どもたちにはやさしい方がいいと思うのですが、中学校に向けて、最初の段階でちょっと

スタートをしておく方が良いと思います。そのあたり、どのように考えていますか。

- 教育長（鈴木 司郎） 赤阪 朋子 教育研究センター主幹。
- 教育研究センター主幹（赤阪 朋子） 今回の学習指導要領から、外国語が教科化されています。小学校では、今まで外国語活動という活動がありましたが、教科化されるのは今回が初めてとなります。教科化したということで、評価をつけなければならなくなり、とても難しく考えている先生もおられると思います。そのために、子どもたちにとっても、先生たちにとっても、1時間の授業でどのような力がつくのか、そして、どのようなことができるようになるのか、が明確に示されている教科書が一番貝塚にとって良いと考えております。そういう点で言いますと、3者とも見開き1ページできちんと流れが設定されておりますので、どの教科書も先生にとっても子どもたちにとっても、良いものであると考えております。
- 教育長（鈴木 司郎） 西村 卓也 委員。
- 委員（西村 卓也） 最近、中学生が指摘されていることに、会話を重視しすぎて、基礎ができていないということがあります。それについて、教えていただきたい。
- 教育長（鈴木 司郎） 赤阪 朋子 教育研究センター主幹。
- 教育研究センター主幹（赤阪 朋子） 外国語の学習指導要領の目標のところには、4技能5領域ということで、「話す・聞く・書く・読む」、「話す・聞く」が「発表・スピーチ」の部分と「やりとり・コミュニケーション」の部分となっております。今回の全国学力調査にありましたように、「話す・聞く」が重要視されております。今までの中学校の英語の授業は、どちらかというと文法の部分、書いたり読んだりというところが重要視されておりましたが、これからのグローバル化社会の中では、「やりとり」の方が重要であると考えて、ここが今回の学習指導要領の転換の部分、一番大事な改訂の部分となっております。小学校の学習指導要領でも重点化されるようになっております。
- 教育長（鈴木 司郎） 田中 廉久 委員。
- 委員（田中 廉久） 小学生では、発音が一番大切だと思います。3者の中で、発音に関して、どこが一番重点的に扱われているか教えてください。できればネイティブの先生が良いと思うが、日本人が発音を子どもたちに教える。なかなか先生方も大変だと思うので、そのあたりはいかがですか。
- 教育長（鈴木 司郎） 赤阪 朋子 教育研究センター主幹。
- 教育研究センター主幹（赤阪 朋子） 発音の部分に関しては、小学校ではあまり発音を重視すると、間違っていて話せなくなる、子どもたちが英語を話すことを怖がってしまうというところがありますので、発音よりもたくさんコミュニケーションの回数をとったり、いろんなバリエーションを楽しむというところに重点を置いています。また、貝塚市としては、今年度もネイティブイングリッシュティーチャーを配置しております。先生は授業を進めていくのですが、発音ややりとりに関しては、ネイティブの先生を配置しておりますので、その点は補充させていただいていると思っております。
- 教育長（鈴木 司郎） 他に質疑ございませんか。
質疑は終わったものと認めます。これより委員各位からのご意見を伺います。樽谷 栄子 委員。
- 委員（樽谷 栄子） 私は、光村図書出版を推薦したいと思います。子どもたちや先生方が使いやすいこともありますし、見開き1ページで構成されていて子どもが見やすく、学習の見通しが立てやすく、單元ごとに補充コーナーが充実しているので、先生方も説明しやすい。子どもたちも見ていて分かりやすいので、光村図書出版を推薦したいと思います。
- 教育長（鈴木 司郎） ご意見も終わったようですので、これより採決いたします。
外国語に関しましては、当市は、光村図書出版の教科書を採択することにご異議ございませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
ご異議なしと認めます。よって外国語に関しましては、当市は、光村図書出版の教科書を採択することに決定いたしました。
- 教育長（鈴木 司郎） 次に特別の教科 道徳に移ります。道徳について意見具申をお聞かせください。
赤阪 朋子 教育研究センター主幹。
- 教育研究センター主幹（赤阪 朋子） 各者とも、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的に学

習活動に取り組むことができるように内容が編成されています。

光村図書出版は

- ・ 生命尊重、いじめ防止、情報モラルの重要テーマを多く取り扱っており、特にいじめにかかわる内容をいろいろな視点から考える教材を取り揃えている。
- ・ 学習の流れ（学級づくり⇒いじめ防止⇒6年最後に感謝・夢）がよく、学習する時期に合わせた教材を配置しており、また、他の教科と関連して取り扱える内容を適切な時期に配置している。
- ・ 問題解決的・体験的な学習の際に、児童が自分で台詞を考えたり、役割演技しやすいように指導の手立てが示してあり、また、大きさや紙の材質が、低学年には持ちやすいなど、子どもたちに優しい配慮がある。

日本文教出版は

- ・ 「現代的課題」について、情報モラルのテーマを多く配置したうえで、防災・安全、キャリア教育、国際理解などについても、各学年ともバランスよく取り扱っている。
- ・ 学習の手引きがあり、体験的・問題解決的学習の指導例が記載されている。
- ・ 「心のベンチ」というコーナーが設定されており、家庭との連携や、他教科等との関連を考えることができる工夫がある。

光文書院は

- ・ 各学年の時間数分の教材に加え、付録教材が5、6点あり、児童の実態に合わせた内容を選ぶことができる。
- ・ 関連する本の紹介や「ことばのたからもの」というコーナーの掲載があり、役割演技で動作化したり、「広げる」で調べ学習等ができるなど、言語活動や体験的な活動がしやすい構成である。
- ・ 家庭・地域に広げる学習の流れや、関連したコラムが用意されていて、学習指導要領に示されている家庭や地域との連携を推進できるように設定している。

各者ともいろいろな工夫がされていますが、上記の点において優れていると考えます。

よって、光村図書出版、日本文教出版、光文書院の3者を推薦いたします。

○教育長（鈴木 司郎） 以上、道徳に関して選定委員会の意見具申を担当指導主事から報告いただきました。委員各位からの質疑をいただきます。田中 廉久 委員。

○委員（田中 廉久） 今回、道徳は8者ありました。その中で、同じ教材を使われている出版社があります。ところが、その教材の中でも全然内容が違う。どのような教科書を選ぶか、悩ましいところでした。そのあたりは、いかがですか。

○教育長（鈴木 司郎） 赤阪 朋子 教育研究センター主幹。

○教育研究センター主幹（赤阪 朋子） 今回の学習指導要領から、「特別の教科 道徳」が教科化され、道徳に関しましては、2年前から先行実施されております。今回の学習指導要領で一番重視されているのは、「子どもたちが考え・議論する」道徳で、決められた価値観を押し付ける授業ではなく、もう少し幅を持たせて、子どもたちが多面的、多角的にもの考えられる授業構成、ということが示されています。その点で考えますと、特定の価値観を押し付けたり、主体性を持たずに言われるままに行動するように指導したりすることは、道徳教育の目指す方向性の対極にあるものと言わなければならないという指摘も書かれています。宗教教育というような一般の公教育にあたる部分に関しては、書いていない教科書もありました。それは、今の文部科学省（学習指導要領）が求めているものということで、教科書会社さんがすべて工夫されて編成されたものだと考えております。

○教育長（鈴木 司郎） 他に質疑ございませんか。

○教育長（鈴木 司郎） 2年前に道徳の教科書を採用した際、光村図書出版の教科書で決まりました。その中で、一つは、2年間光村図書出版の教科書で問題はなかったのか。そして、ノートが付いていない教科書がいいのか、付いている教科書がいいのか。小学校ではノートが付いていない光村図書出版を選びました。これによって、それぞれの小学校で道徳ノートを作ることで、評価をしていくこととなった。これについての問題はいいのか。この2点を教えてください。

赤阪 朋子 教育研究センター主幹。

○教育研究センター主幹（赤坂 朋子） 今回の調査のために、調査員の先生方が、現行の光村図書出版と新しい光村図書出版との比較もしてくださっています。その中で、八つの改善点が見られています。子どもたちが見やすく考えやすくなるように改善されている。2年間やっていて、不備や不都合は考えなかった上に、さらに改善点が加えられているというところで、光村図書出版が良くなっているのではないかという意見がありました。

ノートの点ですが、貝塚市の道徳教育は他市より進んだ状態にあると聞いております。ですので、先生方が価値観を押し付けない道徳、考え議論する道徳ということに関して、早くから手をつけて頑張っているところがあります。教科書会社が作ったノートがあることが、先生方がバリエーションを持って授業をしているところに少し妨げになるかなということで、ノートが付いてない方が先生方の自由度、子どもたちの現状を見ていろいろな発問を考えたり考えさせたり授業のバリエーションが利くということで、ノートが無いということに関しましても、不備や不都合はないと聞いております。

○教育長（鈴木 司郎） 他に質疑ございませんか。

質疑は終わったものと認めます。これより委員各位からのご意見を伺います。田中 廉久 委員。

○委員（田中 廉久） 結論から申しますと、日本文教出版を推薦させていただきます。理由は、3点あります。まず、道徳の学び方について、先生による授業の進め方と子どもたちがどのようにして道徳を学ぶかについて、やさしく丁寧に書かれています。道徳は、気づきが一番大事だと思います。他の出版会社は、「考えよう、話し合おう。」が初めにきているが、まず気づいて、その気づいたことを友達と議論をして考えを深めていくことを行っていく。友達と議論したことを通して、自分を見つめて、課題を探っていく。そして、より良く生きるために生き方に活かせることは何か、ということ子どもたちが考えていく。これは、とても大事なこと。具申書にも書かれています。各単元に「学習のてびき」がありますが、これはグループで問題について話し合っ、問題解決に向けて話し合っ、また議論することが書かれています。また、単元ごとに「心のベンチ」というものがあり、さらに知識を深める。

第2点は、8者とも権利と義務について、非常に大きな差が記載内容にある。権利と義務は、非常に微妙な単元であると思いますが、軽く流している出版会社もある。それを先生方もしっかりと勉強して教えることは、大事なことだと思います。これで子どもたちの将来の考え方が大きく変わってくる。大きな影響を与えると私は思います。

第3点として、道徳を通して、学校と家庭との連携をどのように進めていくか。これがまた、非常に大事なことだと思います。大阪府教育委員会の研修会や、先月の貝塚市の教育フォーラムの講演でもそういう話がありました。貝塚市では、何年前前から各学校で道徳の授業を考えられて、独自の道徳ノートを採用しているということを知っています。それは、子どもたちの心の成長や先生方が評価するにあたって必要としている。そこで私は、さらにこのノートを有効に活用して行って、保護者の方からも道徳ノートにコメントしてもらい、自分の子どもたちの心の成長について考え、気づいてもらう。道徳の教科書に保護者の方に目を通してもらう。学校教育も大事だが、家庭教育が一番大事だと私は考えております。子どもたち、先生方、保護者、教育に携わる私たちは、人格を磨き、人間性を高めていく、これが道徳を学ぶ本来の目的であると思います。

以上の3点から、私は日本文教出版を推薦させていただきます。

○教育長（鈴木 司郎） 他にご意見ございませんか。浅田 真由美 委員。

○委員（浅田 真由美） 私は、2年前の道徳の教科書採択に参加しました。その際に光村図書出版を採択させていただきました。経験年数の浅い貝塚の先生方にとっては、少しハードルの高い教科書だったと思います。その際に、学校現場の先生方が研究努力をたくさんしてきているのを見ています。今回もノートのことが話しに出ています。その時もノートが必要か必要でないか迷いましたが、ノートを外して各自でノートを作りましょうとスタートしました。先日もノートを見せていただきました。各小学校、ノートやプリントを使って、子どもたちの意見をまとめています。それを目にして、子どもたちをしっかりと見つめてくれていると思ったら、私は引き続き光村図書出版を推薦したいと思います。

○教育長（鈴木 司郎） 他にご意見ございませんか。

○教育長（鈴木 司郎） ご意見も終わったようです。特別の教科 道徳に関しましては、光村図書出版と日本文教出版の二つのご意見がありましたので、ただ今からこの2者で採決を行うことといたします。挙手により採決いたしますがご異議ございませんか。

光村図書出版の教科書が良いと思われる方は挙手願います。

〔3人挙手〕

日本文教出版の教科書が良いと思われる方は挙手願います。

〔1人挙手〕

3対1となりましたので、特別の教科 道徳に関しましては、当市は、光村図書出版の教科書を採択することにいたします。

○教育長（鈴木 司郎） これを持ちまして、教科書採択に関することは終了とさせていただきます。

○教育長（鈴木 司郎） 次に日程第5、議案第26号令和元年貝塚市教育委員会会議第1回定例会会議録承認の件を議題といたします。

議案第26号 令和元年貝塚市教育委員会会議第1回定例会会議録承認の件

○教育長（鈴木 司郎） お諮りいたします。令和元年貝塚市教育委員会会議第1回定例会会議録の朗読は、省略したいと思います。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり。〕

ご異議なしと認めます。よって、会議録の朗読は、省略することに決定されました。

ただいまから質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり。〕

質疑はないものと認めます。

これよりご意見を伺います。

〔「なし」と呼ぶ者あり。〕

ご意見もないようですので、これより採決いたします。

本案を承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり。〕

ご異議なしと認めます。よって、本案は承認することに決定されました。

○教育長（鈴木 司郎） これをもちまして、令和元年貝塚市教育委員会会議第1回臨時会を閉会いたします。

午後17時58分 閉会

貝塚市教育委員会教育長	
貝塚市教育委員会委員	
貝塚市教育委員会委員	